

2026年2月1日

発行:ワイスメンズクラブ国際協会東日本区 東京都新宿区四谷本塩町2-11
URL:<https://ys-east.or.jp>

| 08

2月強調月間

TOF/FF/HTW**TOF 断食の時**

ワイスメンズクラブ国際協会における TOF (Time of Fast) 活動は、会員が日常の食事を控えたり、質素にしたりすることで生まれた節約分を献金し、世界各地の支援活動につなげる国際奉仕プログラムです。「断食のとき」を意味する TOF は、1970 年代初めに始まり、現在では世界中のワイスメンズクラブに受け継がれています。

TOF の基本的な考え方とは、比較的豊かな生活を送っている私たちが、一食分を控えるという小さな行動を通して、困難な状況に置かれている人々と心を重ね、その支援に参加することにあります。多くの国では毎年 2 月を TOF 強調月間とし、会員が少なくとも一食分を抜き、その費用を TOF 基金に献金する取り組みを行っています。集められた資金は、国際協会が承認したプロジェクトに配分され、災害救援、教育、保健、生活改善など、SDGs に関連する幅広い分野で活用されています。

近年の TOF 資金は、インドでの若者や女性の職業訓練、医療補助具の提供、フィリピンでの地域医療支援、米国での飢餓緩和事業など、さまざまな国や地域の課題解決に役立てられています。日本においては、2024-25 年度に東日本区が TOF 資金を用いた「不登校問題への取り組み」を実施しています。これは、増加する不登校という社会課題に対し、東日本区内の YMCA と連携し、調査や学習会、関係者のネットワークづくりを通じて、地域に根ざした支援体制を構築することを目的とした 3 か年計画の事業です。

この取り組みは、単なる献金にとどまらず、社会課題を理解し、具体的な行動につなげていく TOF の本質を示しています。

**FF ファミリーファスト**

一方、FF (Family Fast) 献金は、会員個人だけでなく、家族や身近な人々も参加できる東西日本区独自の献金活動です。アジアや世界各地には貧困、飢餓、病気で苦しんでいる子供たちが大勢います。この献金はその支援のために使われるものです。一食分の食事を控え、その節約分を献金する点は TOF と共通していますが、「Family」という名称が示すように、

家庭の中で奉仕の心を共有することに重きが置かれています。FF 献金は、TOF や CS (Community Service) 献金と並び、区やクラブの活動を支える重要な財政基盤です。年度ごとに一人当たりの目標額を定め、クラブ全体で達成を目指す形が一般的であり、奉仕を特別な行為ではなく、日常生活の延長として実践する姿勢を育んでいます。

HTW**Heal The World****YMI Heal the World**

HTW (Heal the World／ヒール・ザ・ワールド) は、2020 年度に始まった国際協会の統一的なグローバル奉仕プログラムです。「愛と尊厳をもって世界を癒す」という理念のもと、世界規模の危機や困難に対応することを目的としています。HTW は単一の事業ではなく、クラブ、区、地域が連携し、YMCA などのパートナーと協働して行う一連の支援活動の総称です。

具体的には、地震や洪水などの自然災害が発生した地域への救援物資やサービスの提供、被災地や困窮地域での住宅再建や地域インフラ整備といったボランティア支援活動、低所得地域や医療資源が不足している地域への医療・健康支援、さらには医療・建築・教育などの専門知識を持つ会員が連携する専門家ネットワークの構築など、幅広い活動が行われています。これら多面的な HTW の活動は、その財政基盤の一部を TOF 基金によって支えられています。

このように、TOF・FF・HTW はそれぞれの役割を持ちながら相互に結びつき、ワイスメンズクラブの「奉仕と連帯」の精神を具体的な行動として表しています。日常の食事を見直すという身近な実践から、地域、国内、そして国際社会へと支援を広げていく点に、ワイスメンズクラブならではの奉仕の特色があります。

TOF・FF・HTW 強調月間にあたり、ぜひ一人ひとりがこの趣旨をあらためて心に留め、無理のない形でご参加ください。小さな行動の積み重ねが、大きな支援につながります。皆さまの温かいご理解と積極的なご協力を、心よりお願いいたします。

東日本区国際交流事業主任
山本 剛史郎（川越）



不登校に焦点 東日本区ワイズナイトフォーラム始まる



山田公平（宇都宮）東日本区直前理事

1月25日、日曜日の午後8時から9時までの1時間、第1回ナイトフォーラムが43名プラスの人たちと共に行われた。テーマは「増え続ける不登校」。

不登校という社会問題（社会現象）は、どうして起きているのか？
不登校の原因は何なのか？不登校に対してYMCAは何をしているのか？
そして、不登校問題に対してワイズには何ができるのか？

このようなテーマで、第1回目のナイトフォーラムが1月25日に開かれ、今後も2月15日に2回目、3月22日に3回目が開かれることになった。タイムオブファースト（Time of Fast）という世界中のワイズメンズクラブが食事を抜いた分の費用を献金に廻し、集まる額は、毎年1200万円を超える。それを世界各地から出される社会問題にワイズやYMCAが取り組もうとしているプロジェクトを支援するという

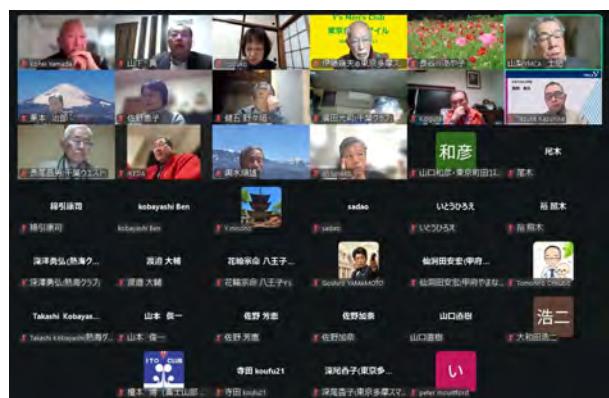
もので、毎年10プロジェクト程度が選考され、そこに支援が向けられている。

今回の東日本区がTOFとして提案したプロジェクトは「不登校」への取り組みを3か年かけていくというもので、総額で15,000スイスフラン（1CHF=165円で換算すると日本円で250万円程度）を使うことになる。

東日本区での不登校プロジェクトは、2024年秋に始まり、2027年12月までの約3か年の計画である。これまで宇都宮（とちぎYMCA）、甲府（山梨YMCA）、東京YMCA山手センタで行われる通信制高等学院のプロジェクトを応援してきた。今後、ワイズやYMCAの働きで不登校への支援を計画しているところに応援を拡げたい。また、ワイズメンズクラブの人たちにもこんな活動に関心を持ってもらい、YMCAや地域の団体への応援を手伝うことができたらと考えている。第2回目のナイトフォーラムは、2/15、第3回目3/22にもご参加いただきたい。

参考までに、第1回目のナイトフォーラムのビデオは以下のユーチューブ

<https://youtu.be/ra9Nh82ujWI> をご覧ください。



第29回東日本区大会の登録始まる



1月30日から第29回東日本区大会石巻大会の登録申し込みが始まりました。

1月7日の大会ホームページの公開とあわせて今後も東日本区大会の情報発信の玄関となるポータルサイトも開設いたしました。

<https://convention.ys-east.or.jp>

東日本区だけでなく西日本区の皆さんからも連帯の参加登録申し込みが続々と続いており、心励まされる日々が始まりました。

5月15日まではワイズメン・ワイズメネットは20,000円の登録料となっております。それ以降は22,000円となります。

是非、お早めにお申し込みください。

なにぶん手作りの大会運営となり行き届かない点もあるかとは存じます。

ぜひご指摘をいただきそれを力としてみなさまが「参加してよかったです」と思う大会の実現に向けて力を尽くします。

6月6日に開催される石巻大会は東日本大震災15周年を一つのマイルストーンとしてとらえ神戸淡路大震災から始まり東日本大震災そして2年前の能登大震災へつながるワイズ・YMCAが被災地において何をしてきたのかを振りかえり、そして次の天災に構えて、私たちワイズメンズクラブが日本にある意味を問い合わせる大会だと確信しています。

そういう意味で、次のページにある石巻広域クラブの能登支援の取り組みも心に含み置きながら大会参加への準備をおすすめください。

石巻広域クラブが能登で支援

被災経験が仲間を突き動かす

石巻広域クラブDBC3クラブ（神戸ポートほか）および日本基督教団石巻栄光教会を中心として、全国各地から計14名が参加し能登被災地を訪問。奉仕活動を行いました。

石巻大会の意義を感じていただければと情報の共有をホスト実行委員長の川上直哉牧師にお願いしました。

原文はかなりの長文ですので紙面の都合上今回は要約での紹介となります。東日本区大会ホームページに原文を納めております。ぜひご一読下さい。

支援の旅の足跡

12月29日（月）

石巻を出発し、仙台で参加者と合流後、七尾市にてレンタカーを借用し、能登島の民宿えのめ荘に宿泊。

12月30日（火）

珠洲市および輪島市を視察の後、輪島市町野町の「もとやスーパー」にて餅つきおよび片付けの支援を行いました。午後は町野第一仮設住宅において「ワイワイ喫茶」を開催し、その後、日本基督教団輪島教会、日吉酒造、輪島市役所を訪問。

12月31日（水）

能登島を出発し、石巻へ帰着。

与えられた活動の地

主な活動地は、珠洲市・輪島市、輪島市町野町の「もとやスーパー」、町野第一仮設住宅団地、日本基督教団輪島教会、支援団体「能登ヘルプ」、ならびに宿泊地である民宿えのめ荘



得られた奉仕への確信

(1) 復旧はいまだ途上

珠洲市および輪島市では、瓦礫撤去の進展は見られるものの、道路や生活基盤の復旧はなお途上にあることを実感しました。

特に町野町へ至る道路状況は厳しく、応急的に整備された箇所を長時間走行する必要がありました。



「もとやスーパー」は、震災後の人口流出が進む中でも地域の生活を支え続けていた拠点です。今回、建物解体に伴う片付け支援と餅つきを行い、多くの地域の方と交流する機会を得ました。

活動中に交わされた住民の言葉からは、「復旧は確かに進んでいるが、外部からはその厳しさが強く見える」という現実が改めて示されました。

(2) 輪島教会と「能登ヘルプ」

午後には仮設住宅集会場にて「ワイワイ喫茶」を開催し、9名の入居者が参加されました。歌や交流、簡単な余興を通して、穏やかな時間を共に過ごしました。

その間、日本基督教団輪島教会を訪問し、石巻栄光教会からの献金をお渡しました。仮設礼拝堂には全国から寄せられた多くのクリスマスカードが掲示されており、祈りと支援に支えられて再建準備が着実に進んでいることを感じさせられました。



また、加賀・能登の教会による支援ネットワーク「能登ヘルプ」の代表牧師とも面談し、支援活動の在り方や教会の一致をめぐる課題について意見を交わし、共に祈る時を持ちました。

これらの課題は、東日本大震災後の東北において経験してきたものと重なるものでした。

(3) 地域に根差した関わり

輪島教会訪問後、日吉酒造を訪問しました。酒蔵が倒壊する中でも、他の酒蔵と協力しながら伝統の酒造りを継続している取り組みは、地域の連帯の象徴と感じられました。

震災後、祝祭を迎える余裕を失った地域の現状や、輪島教会の再建を喜ぶ言葉に触れ、日常的な信頼関係の積み重ねが、困難な時に確かな実を結ぶことを改めて学ばされました。

最後に輪島市役所を訪問し、支援活動の概要を報告した上で帰路につきました。

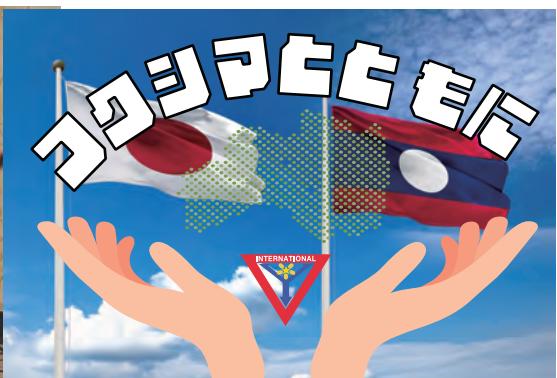
感謝とともに広がりを願う

能登地域の復興は、現在もなお継続的な支援と関わりを必要としています。

本活動を覚え、祈りと支援を寄せてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。



ラオスにYMCAを ふくしまにYMCA・ワイズメンズクラブを



1月16日(金)フォーチュンガーデン京都にて、「ラオスにYMCAを!有志の会の新年会」が開催されました。

75名の出席を得て東日本区から山下理事、小林事務所長が参加をいたしました。

熊本でのアジア太平洋地域大会において大野嘉宏ワイズ(ラオス名誉領事)から、「ラオスにYMCAを」とホテル観光学部や専門学校建築への基調講演がおこなわれました。刻々と状況が変わっていく困難さを吐露されていたのをみなさんも思い出すでしょう。

大野ワイズが積み重ねてきたラオスとの友好事業(ラオスからの象の寄贈や京都の中古バスの寄贈)が、ラオス政府高官からも評価され国交70周年記念式典では開校を認めるべきとの政界内部の合意が形成されつつありました。

そして報告会があったまさに1月16日の朝に大学として設立を認めるという一報が飛び込んできたので

す。

これを受けて会場のボルテージは最高潮に達したのは言うまでもありません。

今年の秋、開校にむけて学生募集が始まり、西日本区では募集を支えるために奨学金制度への献金が検討されています。

東日本区では「ふくしまにYMCA」をという地元の声に応えて、その設立とそれを支えるワイズメンズクラブをという目標に向かって努力を重ねています。わたしたちはラオスにおけるこの成果をしっかりと受け止め、情熱と周りの支援さえあれば夢はきっとかなうのだという教訓を胸に刻みつけるべきだと思います。

東日本区は必ず夢をかなえたい。そう思います。みなさまのご支援をよろしくお願ひします。

そしてラオスにおける我が兄弟姉妹の運動も自分のものとして受け止め支援の気持ちをぜひ興味を持つことから始めましょう。

そして感じるままに心の決めた通りの支援を献金に繋げることができたら素晴らしいことだと思います。

<https://kyoto-palace.net/webentry/>

ラオスのYMCAは実現に向けて大きく前進

Week 4 Waste 実施のお願いを



W4W(Week for Waste、ゴミ・廃棄物の週)は、2021年から世界中のワイズメンズクラブが参加し毎年4月に実施されているものです。

2050年には、海の中のプラスチックごみの量は魚の数を超えるという説があります。ローマクラブが「成長の限界」で地球資源の有限性を訴えてから50年が経過しました。毎年末にCOP(国連気候変動枠組み条約締約国会議)は開かれていますが、決定されたことは経済成長の名目のもと

で実施が困難になっています。私たちは地球環境の破壊をし続けているのです。温暖化の阻止にごみ拾いは直接の効果は無いかも知れませんが、ワイズが環境破壊の課題に向き合う姿勢は大切です。ハチドリの一滴は集まれば森林火災を消す力になります。

「Week 4 Waste」の目的は、身の回りのごみ拾いを世界中のワイズ全員が一齊に行い、地球を綺麗にしようというものです。

各クラブ例会で相談の上、クラブ単位でも個人でも町のごみ拾いを実施して参加してください。可能であればユースや地元高校生など、若い世代と共にのぼり旗を掲げて実施いただければ幸いです。例会時また各種の行事に合わせて実施してください。4月実施にはこだわりません



実施状況を写真に撮り、(実施日程、場所、参加人数、写真、ごみのkg)を各部主査または東日本区CS・Yサ事業主任の深澤CS・YMCAサービス事業主任まで送ってください。



【開催日】

2026年4月を中心としますが他の月でも実施検討願います。

【会場】

各クラブの活動拠点にて。

【対象者】

世界中のワイズメン&ユース、地元高校生や行政、企業、民間団体、地域の方々。

【実施内容】

ゴミ拾いをはじめとする、草取りなど環境美化に関するここと全般。

【成果報告】

4月末日までに深澤へ必着のこと。その結果をもって表彰致します。

【送り先】

各部主査または東日本区CS・Yサ事業主任の深澤)

- ・所属部
- ・クラブ名
- ・実施場所
- ・参加者数、協力団体(有る場合は)
- ・〇〇kg
- ・記録写真1枚または5分程度の動画(できれば)ワード等に貼り付けないで、添付ファイルとして、画像データのまま送って下さい。複数画像がある場合は、合成して1枚にできれば可。

各部主査または深澤勇弘 東日本区CS・Yサ事業主任



1月10日 東京YMCAで開催された在京新年会は東京YMCA東陽町センターで開催されました。新春を祝うYMCA江東学院のトーンチャイムのすがすがしい演奏で心洗われ、全国から集まったワイズメンとユースの交流を楽しみました。



アジア太平洋地域大会とあわせて行われた熊本でのユースコンボケーションの報告が丸山啓太君から行われ立派なものでしたが、交流に参加してくれたユースとの語らいでワイズもそのパワーをもらって少し若返ったようなそんな新年会がありました。



山梨4クラブ新年合同例会

2026年1月10日（土）富士吉田市『魚吉会館』にて、山梨4クラブ新年合同例会がホスト・富士五湖クラブで開催されました。天候にも恵まれ、雪衣をまとい銀盤を輝かせた美しい富士山が総勢30名の参加者を出迎えてくれました。会は前日にお亡くなりになられた甲府21クラブの松村豪夫さんの黙祷から始まり、開会点鐘、各クラブ会長挨拶と進み、ゲストの中田純子山梨YMC A総主事と、大和田浩二次期あずさ部部長からもご挨拶をいただきました。

全員で記念写真の撮影の後懇親会。引き続き大和田次期あずさ部長の食前感謝と乾杯で開幕となりました。FF弾き語りの演奏、原俊彦さん製作グッズに、富士山コップ、スイートベリーの焼き菓子などの豪華な新年福引くじ、美味しい料理と飲み物、お酒も入り笑い声いっぱいの盛況な新年会となりました。

ニコニコボックスの寄付金は、銀河鉄道の森の支援金として中田主事にお渡ししました。今年も皆様と共に、元気でワイズ活動が出来ますようにと祈りつつ、楽しい新年会を終えました。



かながわ部 Yワイズ新年合同例会

2026年「Yワイズ新年交流会」が1月17日に横浜中華街廣東飯店で、ワイズ東日本区・山下理事、あずさ部・山口直樹部長、東新部・深尾香子部長、東京多摩スマイルと東京町田コスモスさんのビジターらをお迎えし、横浜YMCA・佐竹博総主事とスタッフ、かながわ部各部長・会員、総勢47名で、和やかに、楽しく開催されました。

新年交流会は、佐竹横浜YMCA総主事、兵藤かながわ部部長のあいさつに始まり、ビジターの山下東日本区理事、あずさ部山口部長、東新部深尾部長からのあいさつ、各ビジターの自己紹介をいただきました。続いて食前感謝祈祷・乾杯をかながわ部鈴木茂監事からありました。その後、飲み、廣東料理に舌鼓を打ちながら賑やかに懇談し、交流・絆を深めました。各テーブルは入れ替わり立ち代わりで、笑い声が絶えませんでした。山下

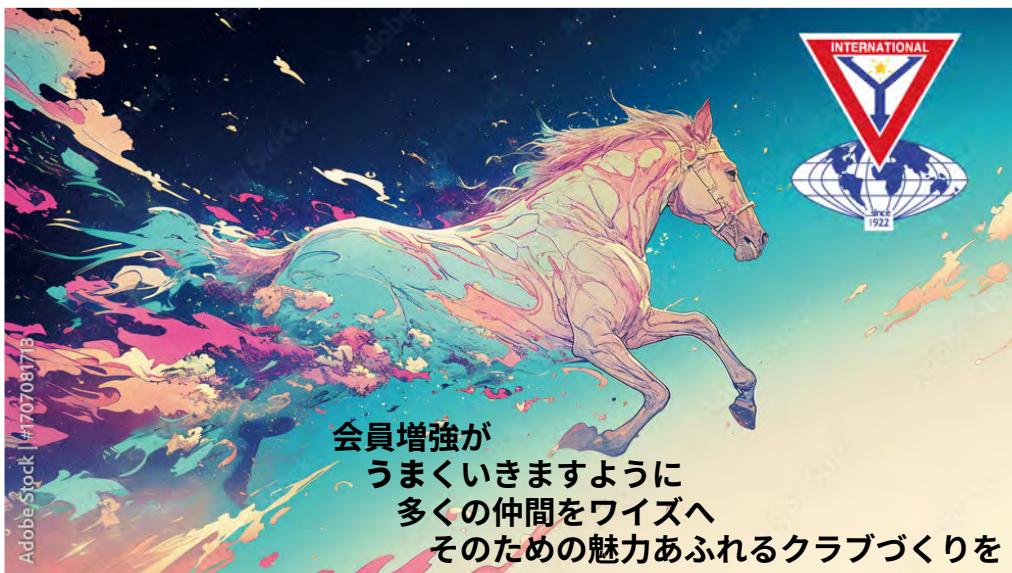


理事が各テーブルに挨拶に回り、参加者からは身近に理事と話ができると、歓びの声が上がっていました。山下理事は京都での会合に出席後、石巻市へ夜行バスで行く合間の忙しくお疲れのなかで、参加いただきました。感謝申し上げます。

会食の後、2026-27年度次期かながわ部役員の紹介、横浜YMCAの活動紹介、山下理事からの東日本区活動報告、かながわ部7クラブの活動PRがありました。

交流会は、佐藤節子次期かながわ部部長から閉会のあいさつがあり、惜しまれて「Yワイズ新年交流会2026」は御開きとなりました。横浜YMCAとワイズかながわ部は、毎年1月の新年交流会と8月の合同納涼を開催し交流・絆を深めるとともに、年4回「Y-Y's協議会」を開催して、横浜YMCAとかながわ部ワイズメンズクラブの情報交換、意思疎通を図っています。





日本Y M C A 同盟報告（2026年2月）

1月10～12日、富山県の立山青少年自然の家に輪島市の小中学生32人のほか、滋賀YMCAと富山YMCAの子どもたち22人、ボランティアリーダー、スタッフなどを合わせた計70人が集まり、スキーキャンプが開催されました。大雪が心配されましたが、降雪のピークがずれたおかげで、雪に降られははしたものの2日目まで予定通りスキークラスを実施することができました。

輪島からの参加者はほとんどがスキー初心者でしたが、2日目には全員がリフトに乗ることができるように、初めてのスキーを大いに満喫しました。また夜には雪遊びや、ご当地クイズ大会などのプログラムを楽しみました。

能登半島地震の発生から2年が経ちましたが、YMCAでは今後も、復興途上にある能登の子どもたち

の応援を続けていきます。

この2月24日でロシアによるウクライナ侵攻開始から4年になります。停戦の見通しが立たない中、日本では現在1,956名のウクライナ避難者が生活しています（2025年12月末日現在）。侵攻開始直後から日本への避難者に対する支援活動を続けている日本YMCA同盟では、現在、4回目となる独自のウクライナ避難者対象の大規模調査を実施しています。調査の結果は、2月24日前後に様々な媒体を通して公表される予定です。この結果を通して、あらゆる世代の当事者の声を分かち合い、私たちがこれから向かうべき道を共に探りたいと願っています。

（東日本区担当主事 田附和久）

今後の予定

- 2月5日 常任役員会
- 2月7日 北海道部3クラブ合同例会
- 2月15日 ワイズナイトフォーラム第2夜
- 2月15日 後期区費・各種献金納入期日
- 2月16日 YMIアンケート回答期日
- 2月27日 東日本区大会ホスト委員会
- 2月28日 次々期理事・財政監事候補者推薦期日
- 次々期東日本区大会開催地・ホスト応募期日
- 東日本区奈良傳賞対象者推薦期日

- 3月7日 関東東部交流会
- 3月10日-13日 RDEサミット
- 3月14日-15日 次期クラブ会長・部役員研修会
- 3月15日 年次代議員会公示
- 3月15日 3.113.11祈祷会と交流会
（ふくしまYMCA設立準備会）
- 3月20日 日本YMCA同盟総主事就退任式
- 3月22日 ワイズナイトフォーラム第3夜
- 4月5日 年次代議員会議案提出
- 4月11日 第3回東日本区役員会
- 4月30日 ドバイ国際大会アーリーバード期日

東日本区区費と献金納入のお願い

区費と献金の送金期日は2月15日となっております。
献金は区費同様、今年度より東日本区事務所へ直接送金となりました。

1. 納付期日 2月15日（区費等、献金）
2. 振込口座 振替払込票にて送金してください。

また、送金とあわせて2月15日までに会長にお届けしている「クラブ各種献金内訳報告」を必ず事務所（メール yseast2010@gmail.com または Fax 03-5367-6652）宛てにご報告ください。

ご多忙とは存じますが東日本区の活動基盤確立のために期日厳守にて円滑な納付推進にご理解ご協力をよろしくお願いします。

東日本区奈良傳賞該当者推薦のお願い

今年度の東日本区奈良傳賞の該当者の推薦を2月28日まで東日本区事務所で受け付けております。
推薦されるクラブ会長におかれましては期日厳守で所定の推薦書を提出願います。

（ハンドブック：ワイズ用語集より）
ワイズダム発展に尽力し、その功績が認められた会員に与えられる賞。
日本のワイズ運動の創始者である奈良傳氏の偉業を記念して制定された賞で、長年ワイズダム発展に尽力し、その功績が認められ、奈良傳賞受賞者選考委員会の議を経て選ばれた会員が、東日本区大会で表彰される。

次々期東日本区大会 開催地並びにホスト募集

2028年6月に開催を予定している第31回東日本区大会の開催地、ホストを下記の通り募集いたします。
募集に応じようとするクラブ・部などは2月28日までに所定の立候補届に必要事項を記入の上、東日本区事務所までご提出ください。

開催予定月日
2027年6月
6月第1週の土日開催とするのが慣例となっております。
これに準拠すれば2028年6月3日・4日の両日、あるいは6月3日の1日開催となります。

次々期東日本区理事ならびに次期財政監事候補者推薦のお願い

既に1月理事通信でもお伝えしておりますが次期の次期理事並びに財政監事候補者の立候補と推薦を募集します。2月28日まで候補者を募集しております。

次々期理事の選考委員長は、山田公平直前理事が担います。
候補者（自薦、他薦）お願いします。

円滑な区費と各種献金の納入にご理解ご協力を
納入期日 2月15日をお忘れなく

新規入会者のご案内

おめでとうございます
心より歓迎申し上げます

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
2025/12/21	富士山部	熱海	鵜澤友美	河村昌彦
2025/12/21	富士山部	熱海	小山太一	河村昌彦
2025/12/21	富士山部	熱海	松田絹世	河村昌彦

JEF 献金

12月はいらっしゃいませんでした

後期半年報の集計結果をお伝えします

各クラブの特段のご理解ご協力をいただき東日本区後期半年報の集計結果を次ページに掲載致しました。残念ながら区全体では1名の減少となりました。
この間のメンバー一人ひとりの会員増強に対するご努力に深く感謝を申し上げます。

これからも新入会員のみなさんをお迎えするために挑戦し続けましょう



あなたの Only One をワイズメンズクラブへ

一般社団法人ワイスメンズクラブ国際協会東日本区
2025-2026 年度 [後期] 現勢

2026.1.1現在

1/19

部名 クラブ名	2024 1.1	2024 7.1	2025 1.1	2025 7.1	2026.1.1			直近 増減
					入会	退会	差引	

北海道部

札幌	14	14	12	12	0	1	11	△ 1
北見	10	10	10	11	0	0	11	0
十勝	19	17	17	16	0	1	15	△ 1
札幌北(札幌と合併) (2023年7月合併)	0	0	0	0			0	0
3	43	41	39	39	0	2	37	△ 2

北東部

仙台	11	11	11	10	0	1	9	△ 1
前橋	6	6	6	6	0	1	5	△ 1
宇都宮	27	28	28	28	2	1	29	1
仙台青葉城	16	17	17	17	0	0	17	0
足利(2024.12解散)	3	3	0	0			0	0
宇都宮東	6	6	6	5	1	0	6	1
那須	8	7	7	7	0	0	7	0
もりおか	16	16	16	17	0	1	16	△ 1
仙台広瀬川	12	10	11	9	0	0	9	0
石巻広域	18	15	17	18	0	1	17	△ 1
9	123	119	119	117	3	5	115	△ 2

関東東部

東京江東	21	22	22	24	1	1	24	0
千葉	10	9	8	8	0	0	8	0
東京グリーン	15	16	16	16	0	0	16	0
埼玉	6	6	6	7	0	0	7	0
東京北(2023.6解散)	0	0	0	0			0	0
所沢	15	14	13	13	0	0	13	0
東京ひがし	13	13	14	14	0	0	14	0
川越	9	10	10	10	0	0	10	0
茨城(2024.6解散)	8	0	0	0			0	0
東京ベイサイド(2024.6解散)	9	0	0	0			0	0
千葉ウエスト	7	7	7	8	0	0	8	0
8	113	97	96	100	1	1	100	0

東新部

東京	23	21	21	21	1	1	21	0
東京むかで	9	8	8	7	1	0	8	1
東京世田谷(2024.6解散)	12	0	0	0			0	0
東京町田コスモス	9	9	9	8	0	0	8	0
東京センテニアル (2024年12月解散)	3	5	0	0			0	0
東京多摩スマイル	17	17	15	15	0	1	14	△ 1
東京町田スマーリング (2023年7月合併)	0	0	0	0			0	0
4	73	60	53	51	2	2	51	0

部名 クラブ名	2024 1.1	2024 7.1	2025 1.1	2025 7.1	2026.1.1			直近 増減
					入会	退会	差引	

あずさ部

甲府	22	18	18	17	0	1	16	△ 1
東京西	11	12	12	11	0	0	11	0
東京武蔵野多摩	7	6	6	5	1	0	6	1
*松本	11	9	9	8	0	0	8	0
東京サンライズ	16	15	15	14	0	1	13	△ 1
甲府21	42	41	45	45	0	0	45	0
東京八王子	12	12	12	11	0	0	11	0
東京たんぽぽ	6	6	6	6	0	1	5	△ 1
*富士五湖	12	12	12	12	0	0	12	0
*長野	7	6	7	6	0	0	6	0
甲府やまなみ	12	11	11	11	1	0	12	1
11	158	148	153	146	2	3	145	△ 1

かながわ部

横浜	12	14	11	12	0	1	11	△ 1
鎌倉	10	11	9	9	0	1	8	△ 1
横浜つか(2024.6解散)	11	0	0	0			0	0
厚木	13	10	9	9	0	0	9	0
金沢八景	10	10	10	9	0	0	9	0
横浜つづき	15	16	16	16	0	0	16	0
横浜つるみ	12	12	13	12	0	1	11	△ 1
大和クリエイティブ Yサービス(2024.11)			8	9	0	0	9	0
7	83	73	76	76	0	3	73	△ 3

富士山部

*熱海	38	37	39	38	8	2	44	6
*沼津	12	11	11	10	0	0	10	0
*伊東	12	13	14	14	1	0	15	1
*三島	7	7	7	7	0	0	7	0
*下田	6	5	3	3	0	0	3	0
*熱海グローリー	13	12	13	12	0	0	12	0
御殿場	14	14	15	15	0	0	15	0
富士	11	10	9	8	0	0	8	0
富士宮	16	16	16	15	1	1	15	0
9	129	125	127	122	10	3	129	7

東日本区合計 (自動)	2024 1.1	2024 7.1	2025 1.1	2025 7.1	2026.1.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
総クラブ数	56	52	51	51			51	0
総会員数(自動)	722	663	663	651	18	19	650	△ 1

* 印のクラブは、担当主事がいないか、または在籍していても複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

★2024.11.24チャーターナイト…大和クリエイティブYサービス

★2024.6解散…茨城、東京ベイサイド、東京世田谷、横浜つか

★2024.12解散…足利、東京センテニアル



ワイズの思いを若者に ユースと描く未来への道

ユースサポートファンド

献金受付期間

4月30日まで

一口 **5,000 円以上**

個人単位でもクラブ単位でもOKです

**献金目標額
200万円**

献金のお手続きについて

ご協力いただける場合はまず裏面の
お申込書をお送りください

献金送金先

- + 口座名
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
- + ゆうちょ銀行窓口で
青のゆうちょ銀行振り込み取り扱い票
口座番号 00110-0-362981
- + ゆうちょ銀行以外からの場合
ゆうちょ銀行019支店
当座貯金 0362981

主な使途

皆さまから献金をいただいた貴重な基金は次の目的等の
ために大切に活用しユースとワイズの相互の発展・成長に
つなげます

ユースの
主体性を育む

SDGsユースアクション

ユースの創意工夫を活かしたプログラムを
東西日本区が責任をもって支えます

ユースを
海外へ

ユースコンボケーション

インド体験・交流ツアーパートicipant支援
海外で体験する異文化との出会いは一人ひとりのリーダーとしての成長を促しユースの
可能性を広げます

ユースとワイズの
関係性を強化

ユース代表の活動基盤を強化

ユース代表二人の活動を強化し学生YMCA
も含めたユースリーダーとの連携を進めワイズとユースとの架け橋としての機能を充
実させます

ユース事業委員会
国際・交流事業委員会

問い合わせ窓口



山田公平直前理事

kyamada246@gmail.com

開催日

2026年
6月6日土



ワイスメンズクラブ
国際協会

本大会

石巻市河北総合センター(ビッグバン)

晩餐会・
フェローシップアワー

石巻グランドホテル

宮城県
石巻市

瓦礫、命、感謝。 第29回 東日本区大会 次の未来へ！

前夜祭

2026年
6月5日金

午後6時～ 石巻元気市場にて

● 親睦ゴルフ大会
別紙にて詳細をお知らせします

エクスカーション

2026年
6月7日日

「津波の教え石」・大川小学校・
原発被災地などを訪問します

6月8日月

オプション 東北キリストン・ツアーア

主催 ワイスメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会実行委員会
ホスト 石巻広域クラブ／仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・もりおかクラブ
後援 公益財団法人仙台YMCA

お申込みは
コチラから
特設申込みフォーム

